

記入例

火 気 等 使 用 許 可 申 請 書

令和 年 月 日

島根県知事 様

申請者 住所 ○○ 県 ○○ 市 ○○ 町 ○○
氏名 株式会社○○○○ ○○ ○○

島根県空港条例第9条（昭和44年島根県条例第19条）第2号及び第4号に規定する許可を受けたいので、次のとおり申請します。

記

- 空 港 名 隠岐空港
- 行為の目的 施設修繕工事
- 行為の期間 令和○年○月○○日 ○時○○分～ ○時○○分
- 行為の場所 エプロン内（詳細は別紙による）
- 行為の内容 建具溶接固定
- 火気の種類 エンジン溶接機
- その他参考事項
作業会社名 株式会社○○○○
作業責任者 ○○ ○○
現場監督者 ○○ ○○
連絡先 ○○○ - ○○○○ - ○○○○

この申請を別記条件を付して許可します。

許 可	令和 年 月 日
	指令 隠支整 第 号
	自 令和 年 月 日 時 分から 至 令和 年 月 日 時 分まで

島根県知事 丸山 達也

別記（火気使用の許可条件）

1. 現場に必ず監督員を配置し、消火器を備え付けること。
2. 施設及び貨物等に危害を与えたときは、申請者において一切の責任を負うこと。
3. 作業実施にあたり他の関係機関と調整が必要な場合は、申請者の責任において十分な調整をすること。
4. 島根県空港条例及び関係法令を遵守すること。
5. 作業場所がスポット内及びエプロンに隣接する場所である場合は、当該スポット及び隣接するスポットに駐機が無いこと。
6. 作業場所が着陸帯内の場合は、航空機の離着陸及び走行時には十分な時間的余裕をもって作業者、使用火器、消火器等を着陸帯外へ退避すること。
7. 作業が長期にわたる場合は、定期的に作業状況を確認すること。